

学校認知行動療法研修会・指導者養成6時間ワークショップ

不安への対処力を養う 認知行動療法の授業実践

(小学校高学年～中学生向けの、10回の授業で行う予防プログラムです)

日時：平成31年3月25日(月) 10:00-17:00 (9時30分受付開始)

会場：星槎名古屋中学校 図書室

講師：浦尾悠子 (千葉大学子どものこころの発達教育研究センター特任助教)

ファシリテーター：小柴孝子 (神田外語大学客員教授)

主催：千葉大学子どものこころの発達教育研究センター

参加費

無料

定員45名程度

※事前申し込み制です。
申し込み方法の詳細は、
裏面をご覧ください。

◆ ワークショップの主な内容

1. 不安予防プログラムの紹介
2. ロールプレイによる授業実践
3. 質疑応答
4. 指導者認定証の授与

◆ 主な受講対象者

小中学校の教諭、養護教諭、スクールカウンセラー、その他、学校現場で子どものこころの教育に携わっている方

(学級活動、総合的な学習の時間、道徳などの授業実践に、授業実践をご検討いただける先生であれば、どなたでもご参加いただけます。)



文部科学省委託事業

子どもみんな
プロジェクト

認知行動療法に基づく予防教育プログラムの指導者を養成します。

不安の問題に対処する知識とスキルを、授業で教えてみませんか？

◆ ワークショップの目的

子どもたちは様々な不安の問題を抱えており、それが学校生活での不応（問題行動・不登校等）や学業成績の不振につながる場合も多くあります。その解決法として、不安の感情をコントロールする目的で、考え方（認知）や行動のパターンを見直す認知行動療法が、医療機関で実施されています。また近年、学校現場において、学級集団を対象に認知行動療法に基づく指導を行うことで、子どもたちの不安の点数を低減することが実証できています。

本ワークショップでは、小学校5～6年生から中学生の児童生徒向けに、学校で行う認知行動療法の授業を実践できるようになるためのワークショップです。

◆ お申し込み・お問い合わせ先

千葉大学子どものこころの発達教育研究センター

「勇者の旅」プログラム担当

Email: yuushanotabi@chiba-u.jp

- ①氏名（ふりがな）②性別 ③所属 ④職種 ⑤電話番号
- ⑥メールアドレス※ ⑦次年度実践（あり・なし・未定）を明記の上、**3月10日（日）**までに、上記メールアドレスまでお申し込み下さい。

- 数日以内に、受付完了のメールをお送りいたします。
- 定員となり次第、募集締切とさせていただきます（定員を超えた場合、受付終了のご連絡をさせていただきます）。

※⑥のメールアドレスは、ご所属先のアドレスではなく、私用のアドレスをお知らせください。なお、お申し込み者の迷惑メール対策等で、上記gmailから送信したメールが正しく届かない場合がございます。上記のgmailアドレスを受信できるように、設定をお願いいたします。

◆ 会場（星槎名古屋中学校）のご案内



※「名古屋駅」桜通口から笹島方面へ徒歩約20分

【文部科学省委託事業】

本事業は、平成26年7月24日の文部科学省「情動の科学的解明と教育等への応用に関する調査研究協力者会議（審議のまとめ）」の提言を受け、研究と教育の現場をつなぐ目的で立ち上げられたものであり、平成27年度予算に基づき文部科学省の委託事業として大学コンソーシアム（大阪大学を基幹大学に、金沢大学、浜松医科大学、千葉大学、福井大学、鳥取大学、弘前大学、兵庫教育大学、武庫川女子大学、中京大学の10大学）により行われるものです。

【平成30年度いじめ対策等生徒指導推進事業】

脳科学・精神医学・心理学等と学校教育の連携の在り方「子どもみんなプロジェクト」のご案内

本取り組みでは、不登校、いじめ、子どもの問題行動とともに、子どもたちみんなの育ちと学びについて、教育実践者と基礎的学問領域の研究者がそれぞれの立場から、課題について考え、その解決策を探ります。(URL <http://smilesupporter.wix.com/kodomo>)



千葉大学

子どものこころの発達教育研究センター